

感動！世界レベルの走り



①身振り手振りで熱心に指導する朝原さん ②北京オリンピックを再現したしなやかな走りやスムーズなバトンパス ③教室終了後、参加者全員で記念撮影

町教育委員会主催の陸上競技教室が10月29日、総合運動公園多目的グラウンドで行われ、町内の中高生約120人が参加しました。

北京オリンピック陸上男子400リレー銅メダリストの朝原宣治さんと高平慎士さんが講師を務め、走る前のストレッチ方法や体幹トレーニング、走るために必要な基礎トレーニングなど、実技を交えながら熱心に指導。参加者は目を輝かせながら真剣に取り組み、世界レベルのスピードや技術に触れました。講師二人による北京オリンピックの再現も行われ、しなやかなランニングフォームと流れるようなバトンパスを披露し、会場を沸かせました。

葛巻高陸上部の栗畑翔君（2年）は「今回の陸上教室で学んだことを練習に生かし、大会で結果を残したい」と気持ちを新たにしました。

全国青年大会 フットサルがベスト8

第65回全国青年大会（日本青年団協議会など主催）が11月11日～14日、東京都で行われ、町青年連合協議会がバスケットボール競技（男子）とフットサル競技に岩手県代表として出場しました。

バスケットボール競技には、伊藤浩暢さんを主将にメンバー11人で出場。初戦は静岡県代表と対戦し、前半は33対31の2点リードで折り返したものの、後半に逆転を許し、健闘及ばず49対77で敗れました。

フットサル競技は、澤口一真さんを主将にメンバー9人で出場し、予選リーグを2勝1敗のグループ2位で突破。決勝トーナメントには8チームが進出し、初戦の相手は栃木県代表。終始押される展開で後半に1点を返す粘りを見せたものの1対4で敗れました。

両競技とも、全国の強豪を相手に堂々と戦い、フットサルは全国ベスト8に入る活躍を見せました。澤口主将は「全力を出し切って戦うことができた。来年以降も県代表として出場権を獲得し、さらに上位の成績を残せるよう仲間たちと練習を頑張っていきたい」と決意を新たにしました。



全国ベスト8入りを果たしたフットサル



初戦で敗退したものの健闘したバスケットボール男子

「ゆきだるま まほうかけたら とけないよ」 竹花 颯真君（葛巻小1年）の作品

まなびい 掲示板

■第36回町子ども芸術展

町内の小中学生の絵画や書道など、発想豊かで生き生きとした力作、秀作が多数展示されますので、ぜひご来場ください。

▷日時 12月2日(金)～11日(日)
午前9時～午後7時
▷会場 総合センター2階（産業経営相談室）
岡公民館 ☎66-2111 内線163

■サンタの訪問家庭を募集します

町青年連合協議会は「サンタが家にやってくる！」の訪問家庭を募集しています。

▷日時 12月22日(木) 午後6時～
▷内容 申込みのあった世帯に、青年サンタがプレゼントを届けます。希望者には申込者が用意したプレゼントも渡します。
▷対象 小学2年生以下、70歳以上高齢者
▷応募 専用の申込書またはハガキに、訪問先住所、氏名、年齢、保護者氏名、電話番号、将来の夢を記入してください。
▷申込先 〒028-5495町公民館「サンタが家にやってやってくる！係」 ※12月9日(金)締切
▷参加費 1人につき500円（プレゼント代）
岡町青年連合協議会事務局
(葛巻病院事務局／担当=前野 ☎66-2111 内線503)



『生きものがいっぱい』
スタジオジブリ 監修
サツキとメイの姉妹が出会ったトトロやネコバス、魔女のキキと旅に出るジジ、山田くんの家のポチ、千尋がはたらく油屋にやってくる神さまたち…。スタジオジブリの長編アニメーション映画に登場するさまざまな生きものを詳しく紹介する新しい形のアニメ絵本です。



『リタとマッサン』
植松 三十里 作
リタは、婚約者を第一次世界大戦で亡くし、失意の中にいたが、ウイスキー醸造を学びに留学中の竹鶴政孝と出会い愛し合うようになる。猛反対を押し切って国際結婚し、来日することに。夢の実現に邁進する夫と、献身的に支え続ける妻。ウイスキー誕生のため生涯を賭けた夫婦愛の物語です。



『おしりたんてい』
トル 作
町に現れた宝石泥棒は、5メートルもある巨人!? おしりたんていがプツと真実に迫ります。大人でも面白いと思える内容で、所々にクイズやおしり探しなどもあり、年長の子でも飽きずにあつという間に読んでしまう、とっても読み応えがある一冊です。

公民館
図書室から
本の紹介

●開館時間：午前8時30分～午後7時
●休館日：年末年始



ステッキなどレースで使う道具を紹介する兄の山本政聡さんと、聡哉さん

岩手競馬騎手 山本政聡さん、聡哉さん兄弟 母校の五日市小で講演

五日市小（森保茂校長、児童28人）のキャリア教育講演会が11月8日、多目的ホールで行われ、同校と江刈小の児童、保護者や地域住民ら約80人が参加しました。同校の卒業生で辰鼻出身の山本政聡さん（31歳）、聡哉さん（28歳）兄弟が「騎手という職業から私が学んでいること」と題して講演。政聡さんは800勝以上、聡哉さんは1100勝以上を挙げ、岩手競馬のエースとして多忙な日々を送ります。小中学校時代のエピソードや騎手の道を選んだ理由、仕事の苦楽などを語り「失敗から学ぶこともあるので、いろいろなことにチャレンジしてほしい。小柄な体格というコンプレックスを職業に変えた。弱い部分があったとしても負けないで頑張ってもらいたい」と児童らにエールを送りました。